

■効果の見える河川事業

◆徳島県 飯尾川総合内水対策緊急事業

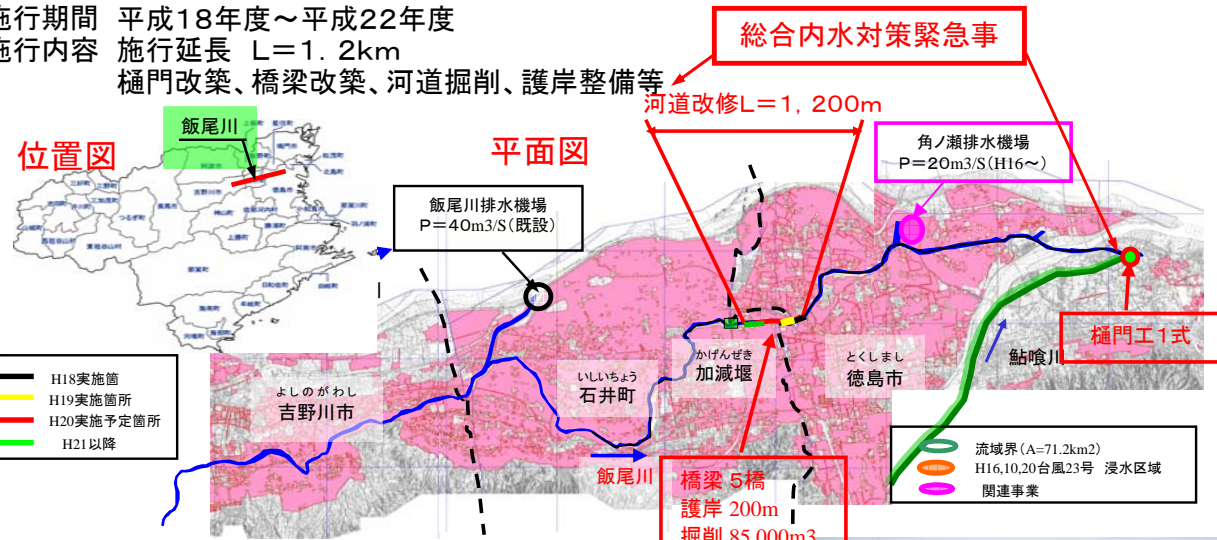
(国の新規施策の事業採択により平成18年度着手)

徳島県河川課長 **石井良直**



- 事業概要 飯尾川は、吉野川とほぼ並行に流れ、河床勾配は非常に緩やかで、流路のほとんどが低平地を緩流しています。(流路延長約26km、流域面積約70km²)
そのため、吉野川の水位の影響によって飯尾川の洪水が排水されず、これまでも住宅地や道路の浸水を何度も繰り返してきた、県内最大の内水河川です。
特に平成16年の台風23号では、吉野川本川が警戒水位を大幅に超え、飯尾川流域において1千戸を超える家屋浸水被害が発生しました。
このため、河道改修及び排水対策施設の整備等のハード対策及び流域における被害軽減等を図るソフト対策により、効率的かつ効果的な内水対策を実施する「総合内水対策緊急事業」の事業採択を受けました。
今後とも、直轄施行の角ノ瀬排水機場と一体となって、緊急かつ集中的に改修を進めることにより、飯尾川流域の浸水被害の軽減に努めて参ります。

- 施行箇所 徳島市国府町～名西郡石井町
- 施行期間 平成18年度～平成22年度
- 施行内容 施行延長 L=1.2km
樋門改築、橋梁改築、河道掘削、護岸整備等



◇完成をまちわびる飯尾川の河川整備

徳島市長 **原 秀樹**



徳島市は、四国東部に位置し、四国三郎「吉野川」の沖積平野に発達した温暖な気候で、水と緑に囲まれた自然環境豊かな人口26万余りの中核的都市です。産業をはじめ政治、経済、文化、教育、情報といったさまざまな面において高い集積があります。

市内には、138の中小河川が縦横に流れ清らかで豊かな水と、優美な眉山の緑は、住む人々に安らぎを与え、訪れる人をいやします。また、今年、徳島のシンボルである眉山を題材とした、さだまさし原作「眉山」が、松島菜々子、大沢たかお主演の映画として全国に上映され話題にもなりました。

徳島市は、地形的な背景もあって、豊かな水はひとたび台風や豪雨ともなると様相が一変し、市民に脅威を与えています。特に郊外の西部にある飯尾川は、昭和34年から中小河川改修事業として、河川整備が進められているところですが、この間にも昭和50年8月の台風6号や翌昭和51年8月の台風17号、また平成16年10月の台風23号といった浸水家屋が一千戸を超える甚大な浸水被害が発生し、また、幹線道路も冠水するなどして交通不能になり、流域住民の水害に対する不安は未だ解消されていない状況にあります。

当該地は、徳島市の都市近郊農業地帯として、ホーレン草、小松菜等そ菜園芸、花き園芸が盛んに行われ、阪神市場に出荷して高い評価を得ておりますが、吉野川に堤防ができる大正期に入るまで毎年のように氾濫し洪水被害が発生していました。その反面、出水のたびに肥えた土が上流から運ばれ、この地を優良な農耕地に育ててきました。古老の話では「洪水の出た翌年は肥料がなくてもよくとれた」ということのようにあります。このことにより藩政時代から藍作地帯として藍が栽培されましたが、明治30年頃から人造藍輸入で急速に衰え、その後、桑園となり養蚕の全盛期には、大正末期で水田までが桑園となりましたが人絹の発明など時代の変革で次第に衰退していきました。これに代わって花き園芸、そ菜栽培、酪農等が取り入れられ農業形態が多様化して現在に至っております。それと並行して近年では、当該地域にも幹線道路の整備と共に宅地化が進み、交通便利な市街地へと変わりつつあることから、浸水対策は、焦眉の急を要する課題であります。

そこで、流域住民の悲願として、かねて要望していた国直轄事業である角ノ瀬排水機場の新設及び県の総合内水対策緊急事業が着手され、事業も順調に進んでおり感謝しているところであります。

一方で、本市においても、流域の無秩序な開発を防止することにより浸水被害の軽減を図るべく、流域内の市・町と県及び国と連携し、水害パネル展やソフト対策会議を開催するなどソフト面での取り組みに尽力して、水害に強いまちづくりを推進しておりますので、関係各位のさらなるご尽力ご協力を賜りますようお願い致します。

